



台風や局地的な集中豪雨に備える

テレビ・ラジオ・インターネット・携帯電話から信頼性の高い最新の防災気象情報を確認して、ご自身・ご家族の安全を確保する行動をとってください。

防災気象情報

大 危険性 小

- **特別警報**
警報の発表基準を大きく超えた数十年に一度クラスの重大災害が迫っているときに発表されます。直ちに命を守るための行動をとってください。
- **警報**
重大な災害の起こるおそれがあるときに発表され、**避難勧告**などの情報に注意し、必要に応じて速やかに避難します。
- **注意報**
大雨や強風などで災害の起こるおそれがあるときに発表されます。気象情報に注意して避難の準備をし、高齢者や乳幼児など避難行動要支援者は早めの避難行動を心がけます。

人的被害が発生する可能性がある避難勧告などの区分
避難指示（緊急）…まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難する。

避難勧告…速やかに避難場所へ避難する。

避難準備・高齢者等避難開始…避難に時間のかかる高齢者などとその支援者は避難を開始する。

● **地下・半地下にいる場合**
都市部では、地下街や地下鉄の駅などに雨水が流れ込む可能性があり、浸水の水压でドアが開かなくなることもあるので、2階などの安全な場所に速やかに避難します。

● **冠水した道路を通る場合**
冠水すると、道路と側溝などの境目が見えなくなり、足元の危険がわからなくなります。水圧によってふたが開いてしまったマンホールに転落する可能性もあるので、できるだけ冠水した道路の通行は、避けるようにします。やむをえず通行する場合は傘などで地面を探りながら移動します。

● **川が近くにある場合**
急激に川の水位が増え、上流のダムで放流が行われると、驚くほどの速さで増水します。避難を呼びかけるサイレンが鳴らなくても、危険を感じたら避難してください。

● **山が近くにある場合**
気象台と都道府県が共同で発表する土砂災害警戒情報が発表された場合、ただちに避難します。

風水害から身を守る Point

- 公的機関の災害情報を読み、避難勧告が出たら直ちに避難する。
- 長靴は水が入り、動きにくくなるため避け、運動靴を履く。
- ひざ下まで水が来る前に避難する。
- エレベーターは停電を考え、極力使わない。
- 避難場所に行けない場合は近隣の頑丈な建物の3階より上へ避難する。



土砂災害に備える

土砂災害は、台風や集中豪雨、地震などが引き金となることが多く、一瞬にして多くの人命や住宅などを奪う恐ろしい災害です。突発的に発生するため、正確な予測が難しく、日頃から非常時への備えが大切です。

● **家が危険かどうか確認する**
自分の家が「土砂災害危険箇所」にあるかどうか、各市町村に確認するか、国土交通省砂防部のHPなどでチェックしましょう。付近にげけ地や小さな沢などがある場合は特に注意が必要です。

● **以下の前兆現象に気づいたら注意**
がけ崩れの前兆現象
● がけにひび割れができる ● 小石がパラパラと落ちてくる ● がけから水が湧き出る ● 湧き水が止まる、または濁る ● 地鳴りがする

地すべりの前兆現象
● 地面のひび割れ、陥没 ● がけや斜面から水が噴き出す ● 井戸や沢の水が濁る ● 地鳴り、山鳴りがする ● 樹木が傾く ● 亀裂や段差が発生する

土石流の前兆現象
● 山鳴りがする ● 急に川の水が濁り、流木が混ざり始める ● 腐った土の匂いがする ● 降雨が続くのに川の水位が下がる ● 立木が裂ける音や、石のぶつかり合う音が聞こえる



地震に備える

高知県では、高い確率で南海トラフ地震の発生が予想されています。

- 地震災害から身を守るためには、正しい知識と適切な対応が必要です。
- 地震災害を自らのことと考え、被害を最小限にするためにも事前の備えをしておきましょう。

大学は、震度5弱以上の地震が発生した場合、災害対策本部を設置し、組織的な応急対応にあたります。学生、教職員の皆さんは、大学の指示に従って、冷静な判断と適切な行動を心がけてください。

- **日頃から備えておきましょう**
- 自宅での備蓄や通勤・通学時の避難場所の確認など、できることから取り組みましょう。
- 大学が発行している「地震防災ガイドブック」には、さらに詳しい情報が記載されています。時々見返しながら、自分に必要な備えを行ってください。

災害対応マニュアル

SAFETY GUIDE



高知工科大学

KOCHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

本マニュアルの内容を無断で複製、または転載することを禁じます。©2020 NOGE Printing Corporation Printed in Japan



家族への連絡方法

地震など大災害発生時に、安否確認などの電話が爆発的に増加し、つながりにくい状況になった場合、提供されるサービスです。

電話で連絡・確認

NTT災害用伝言ダイヤル

📞 **171** をダイヤル

録音 **1** 再生 **2**

被災地の方の電話番号を入力

伝言の録音 (30秒以内) **1*** 伝言の再生 **1***

*ダイヤル式電話機の方は操作不要です。

災害用伝言ダイヤルとweb171は相互連携しています。詳しいサービス概要や、ご利用方法はNTTのホームページをご覧ください。その他携帯各社で提供されているサービスについては、各ホームページをご参照ください。

● **体験利用について** 災害発生に備えて利用方法を事前に覚えらるよう、体験利用提供日が設定されています。

体験利用 | 毎月1日・15日 (0:00~24:00)、正月三日 (1月1日0:00~1月3日24:00)
提供日 | 防災週間 (8月30日9:00~9月5日17:00)、防災とボランティア週間 (1月15日9:00~1月21日17:00)

インターネットで連絡・確認

NTT災害用伝言板

📄 <https://www.web171.jp> (web171)へアクセス

登録・確認する固定電話、または携帯電話の番号を入力

利用者情報、送信先情報の登録

メッセージの登録 メッセージの確認・再生



大学への連絡方法

安否確認メールに回答する

震度5弱以上の地震が発生すると、大学の安否確認システムから安否確認メールが送信されます。メールに記載されている内容に従って回答してください。

安否確認メールが届かない場合
以下の URL に直接アクセスして回答することもできます。

📧 **安否確認システム**

どちらかアクセスできる方で回答する。

<https://asp34.emc-call3rd.jp/kppuc/anpi/> <https://asp34.emc-call4th.jp/kppuc/anpi/>

はがきを使った報告

はがきに氏名・学籍番号・被害状況・避難先などを記載して投函してください。

「ポータルシステム」に登録している携帯メールアドレスに安否確認メールを送信します。携帯を買い替えたり、メールアドレスを変更した際は、登録情報を更新してください。また、毎年行う防災訓練などで使い方を確認しておきましょう。

高知工科大学
〒782-8502
高知県香美市土佐山田町宮ノ口185

緊急時パーソナルメモ

氏名 _____

学籍番号・教職員番号 _____

所属 _____

電話番号 ☎ _____

持病 あり なし 常用薬 あり なし

アレルギー あり ()
なし ()

自宅近くの避難場所 _____

家族との待合せ場所
家族と共有しておきましょう

*記入は油性のペンを使用してください。
このカードを拾得された方は下記までご連絡ください。

高知工科大学
〒782-8502 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185
TEL 0887-53-1111

地震発生直後

揺れがおさまったら → 落ち着いたたら① → 落ち着いたたら② → 落ち着いたたら③

地震発生
身を守る

今いる場所は
本当に安全？

YES
その場所を動かない

NO
避難場所へ避難

**家族との
安否確認**
(裏面参照)

**大学への
安否連絡**
(裏面参照)

自宅に歩いて
帰れる？

YES
自宅へ

NO
避難場所へ

POINT

POINT

POINT

POINT

大きな揺れを感じたら

●危険物から離れる
窓や棚、ガラスなど割れたり中のものが飛び出しそうなものから離れる。実習中や課外活動中などで、周囲に危険なものがある場合は、速やかにその場から離れる。

●落下物から頭と手足を守る
机の下にもぐる、バッグなどで頭を覆うなどして、頭と手足を守る。落下物がない場所にいる場合は、その場で座り込む。

●出口を確保する
ドア付近にいる人は、ドアを開け、出口を確保する。(余裕がある場合)

●揺れがおさまるのを待つ
安全を確保して、揺れがおさまるのを待つ。

津波への対応

津波から身を守る最も有効な対策は、可能な限り高台の安全な場所に避難することです。自宅や大学周辺の環境や、避難場所を予め確認して、迅速な避難ができるようにしておきましょう。

●避難場所を確保
南海トラフ地震の場合、高知市の広い範囲に津波が到達します。高知県では津波に備えて、津波避難ビルや津波避難タワーが準備されています。自宅や通学・通学経路など、生活範囲のどこに避難場所があるか、必ず確認しておきましょう。
※香美キャンパスは津波の恐れがありません。
永国寺キャンパスは、教育・研究棟4階以上に避難

津波避難行動時の注意

●津波は想像よりずっと速く、予想外の所まで到達します。海岸付近で強い揺れを感じた場合はもちろん、揺れが小さかった場合でも、高いところへ避難するようにしましょう。

●第一波が引いた後、家に戻ったところを第二波に襲われる場合や、余震によって再度津波が起こる場合があります。警報・注意報が解除されるまで避難を続けてください。

津波警報・注意報の区分、予想される津波の高さ
通常、津波注意報(0.2~1m)、津波警報(1~3m)、大津波警報(3~10m超)の規模で発表されます。「巨大」という言葉で大津波警報が発表された時は、東日本大震災クラスの非常事態です。また、警報などが間に合わないこともあります。

大学での避難場所

香美キャンパス

自動体外式除細動器
AED設置場所

避難場所

香美キャンパスAED設置場所

- 講堂
- 雨天練習場
- 地域連携棟
- グラウンド
- 総合体育館
- ドミトリー
- 本館 / 1F (警備室)、2F (健康相談室)
- A棟 / 1F (自動販売機)
- C棟 / 1F (自動販売機)
- 国際交流会館

安全が確認されるまで大学にとどまる

余震が落ち着いたら、無理に帰宅せずに、安全が確認されるまで原則として大学や避難場所へとどまること。通動・通学途中などに徒歩で帰宅する場合の目安は20km以内。SNSなどのうわさにまどわされず、正確な情報を収集する。

大学から20kmの地図

通勤・通学中

●周囲の状況に注意し、身の安全の確保を最優先とする。

●ブロック塀、電柱、自動販売機などから離れ、落下物にも注意する。

●「帰宅するか」「登校するか」または、「最寄りの安全な場所に避難するか」は自分で判断する。

memo

●被害状況を正しく把握する。

●事前に家族と相談して決めた避難場所に移動する。ただし、被災場所やその場の状況によっては安全を最優先し、別の避難場所に移動する。

●避難中は警察や消防の指示に従う。

永国寺キャンパス

●避難場所(4F以上)

●AED(1~3F)

●AED(3F)

電車内や駅で地震に遭ったら

- 電車内では、つり革、手すりにしっかりつかまり、電車が止まっても線路には出ない。
- 電車内では乗務員、駅では駅員の指示に従い、身の安全の確保をする。

エレベーター使用中に地震に遭ったら

- 慌てずに冷静な対処が基本。すべてのボタンを押し、停止した階の状況を見極めながら避難する。
- エレベーター内に閉じこめられた場合は、冷静に「非常用呼び出しボタン」などで外部と連絡をとる。

●多くの人が一斉に帰宅すると各所で混雑が発生するため、余裕を持つことも大切。周りの状況を確認してから帰宅すること。

●災害時の歩行速度は約2.5km/時程度、10kmは4時間を要することになる。

●日没後の行動は危険で夜間は犯罪に巻き込まれる可能性もあるため、1人での行動は避けること。

月日	日の出	日没
3月20日	06:10	18:18
6月20日	04:56	19:19
9月20日	05:52	18:05
12月20日	07:06	17:01

(目安)

※悪天候は1時間早く暗くなる。(高知)